

おおがわら

議会だより



第154号

令和2年2月1日

QRコードから議会の情報をご覧ください

大河原町議会



1月19日
空手寒稽古
関連記事 P24

新コーナー 町民の声	②③
小学生の議会傍聴	④⑤
議案審議	⑥⑦
全員協議会	⑧⑨
町政への提言	⑩
議会報告会	⑳㉑

大河原町に
嫁いできた

女性 × 議会

越して来たからわかる 町の良いところ、望むこと



今回から「町民の声」コーナーをスタートしました。議会だよりの編集を行っている広報委員が皆様のもとへ伺い、取材を行います。町民の皆様が日々感じていることをお聞きし掲載することで、読まれた方に共感や関心を持っていただくとともに、大河原町により愛着を持ってまちづくりに参画していただくことを目的とします。

他市町村から大河原町に嫁いでこられた女性を対象として、この町での「子育て」や「地域医療」、「町に望むこと」などをお伺いします。

「ぜひ町に伝えたいことがある」という方がいらつしやいましたら、議会事務局までご連絡ください。お話を伺いにお邪魔します。ご協力のほど、よろしくお願ひします。

議会事務局

0263-26000

みやぎ県南中核病院

病院長 **内藤 広郎 氏** × 議会

地域医療を考える

町民と学ぶ
大河原町議会
議員研修会
ご案内

日時：令和2年2月7日(金)
午後1時30分～午後3時

場所：大河原町中央公民館
大ホール

講演内容：みやぎ県南中核病院の
これまでの歩みと地域医療について

講師：みやぎ県南中核病院
病院長 内藤 広郎 氏

※参加費無料。事前申し込みもありません。



本議会では、議員の資質向上を図るために、毎年自ら研修会を開催しております。今回はみやぎ県南中核病院より内藤病院長を講師にお迎えし「県南中核病院の歩み」「地域医療」という、町民の関心も高い内容で開催しますことから、多くの方々に足をお運びいただけるよう、中央公民館での開催としました。

ぜひ多くの皆様にご参加いただきますよう、よろしくお願ひします。

インタビュー

町民の声

子育てや町に望むこと
をお聞きました。

プロフィール

丸山 真衣 さん (上谷三区)
白石市出身
【家族】夫、子ども3人 (二男一女)
5人家族

雨にも強い サッカー施設と 屋内運動場の整備を 住みやすさを実感

隣接する白石市から、結婚を機に大河原町へ嫁いで来ました。平成19年に長男を出産。翌年に主人の転勤で仙台市へ引越し、次男を出産。東日本大震災後に大河原町へ戻り、長女も生まれました。春には家から少し歩くと一目千本桜がとともきれいで、子どもたちと土手を散歩するのが大好きです。長男は野球にサッカーをしていてとても活発に育ち、毎日賑やかに子育て生活を送っています。子ども達は小学生になりましたが、大



河原町は保育園が充実しているところが当時は助かりました。また、高校生までの医療費無料化も、子どもが多い我が家には大変ありがたく助かっています。

子育て環境の整備
に対する要望

今年の冬は例年に比べ暖かく過ごしやすいのですが、インフルエンザへの予防はしっかり行ってい

ます。子ども3人が一般的な小児科で予防接種を受けると、受診料は2万4000円位かかります。町で助成してほしいと毎年この時期になると思います。

さらに、病児・病後児保育や、親が病気になるためにより急用等のために子どもを預けられる施設があればと感じています。ママ友等に助けられ乗り切った経験もありますが、予約がなくても利用できるものがあれば良いと思っています。

保育園は19時30分まで預かってもらえますが、児童館は18時15分で終わってしまいます。職場が遠いと間に合わず、児童館の先生を待たせしてしまうこともあります。働きながら安心して子育てできる環境整備を強く願ひ

ます。

家族で遊べる
施設の整備を

キッズランド(白石市)のような雨の日も家族で遊べる施設があったら良いと思います。

雨が降ると屋内でゲームかエアーチューブを見て過ごしている子どもがいます。雨の日でも遊べる屋内施設や、気軽に家族でバーベキューやキャンプができる施設があったら、より充実した休日をごせると思います。また、町内のサッカー人口が多いにも関わらず、他のスポーツに比べ施設整備が遅れていると感じています。サッカーやフットサルができる専用の環境がなく、雨や他行事に影響を受ける場所しかないのが残念です。

小学6年生 初めての議会傍聴



大河原小学校

町が今している対策や今後どうしていくのかなどを知ることができてとてもよかったです。

大河原小学校

私たちがなにげなく過ごしている間に町のことを話し合っていることを知ることができてよかったです。

大河原小学校

町を発展させる事にいっしょけんめいに話し合っていてすごかったです。また、しんげんに話していて感心しました。

大河原小学校

町民のことを一番に考えて議会を進めていたので、とてもうれしかったです。自分ではできないような議会をやっている、やってみたいと思いました。

大河原南小学校

町の議会は平和だと思いました。ニュースで国会の様子をよく見るんですが、たくさんのヤジが見るんですが、町の議会はヤジがなく、静かに議論してすごかったです。

大河原南小学校

議員さんたちは、僕たち町民の大切な事を考えて議会で発表していてすごかったです。議会ですべてを役場で放送していて良かったです。

金ヶ瀬小学校

地域の問題をどうしたら解決できるのかということ時間をぎりぎりになったにも関わらず話していたところがよかったです。

大河原南小学校

議会を見学して、ほくも町やみんなのことを思っ出てみたいと思いました。

金ヶ瀬小学校

少し難しくよくわからなかった事が多かったけど、みなさんは町の人たちのためにたくさん考えてくれているのがよく分かりました。自分の目で見たからこそ、これまで以上に安心して過ごせます。

12月11日、12日の2日間、授業の一環として町内の小学6年生全員が、議場内で一般質問を傍聴しました。感想を寄せていただきましたので、一部を紹介いたします。

みんなの疑問 Q&A

Q どうしてタイムアップが止まったり動いたりするのですか。

A 議員には1人30分の質問時間が与えられています。これは「議員が質問を行う時間」なので、町長や課長が答弁する間はタイムアップが止まります。

Q ヘルが鳴るのはなぜですか。

A 質問の残り時間を知らせるためです。残り5分、1分、終了時にそれぞれベルが鳴ります。



可決

同意10件

報告2件

議案11件

12月
会議



一般会計補正

- 台風19号による被害のための主な増額補正
- 災害援助費 126万円
- 清掃費 1億2424万円
- 土木施設災害復旧費 5140万円
- 農業費 6000万円
- 農林水産業施設災害復旧費 3000万円

その他主な補正

- はたらく館にシルバ1人材センターへ賃貸する倉庫を新築 580万円
- 道路冠水時の通行止めを使用するA型バリケード100台購入のため増額 82万円
- 幼児教育・保育無償化実施につき、無償化対応システムが入ったパソコンを追加 56万円

条例改正

次条の一部改正について、いずれも全会一致で可決した。

大河原町水道事業の設置等に関する条例
経営や資産の状況をより的確に把握し経営機能強化を図るため、

特別会計補正

主な補正
仙南夜間初期急患センター事業特別会計
インフルエンザ患者の増加によるカルテ取納庫購入のため増額 18万円
(全会一致で可決)

人事

農業委員会委員の任命
長山 清市氏
跡邊 信吉氏
半沢 良一氏
大宮 孝則氏
角田真由美氏
松井 誠子氏
佐藤 富男氏
鈴木 勉氏
小野 実氏
任期満了となる農業委員会委員について、9名の任命に同意。任期は令和2年1月1日から3年間。

教育委員会委員の任命
小山 明子氏
任期満了となる教育委員会委員の任命に同意。任期は令和元年12月25日から4年間。

早期復旧に向けて

可決

10月
会議

報告1件

承認1件

- 一般会計補正
- 罹災者見舞金 200万円
- 災害救助費 7577万円
- 清掃費 2576万6000円
- 農業用施設災害復旧費 1500万円
- 土木施設災害復旧費 1億5180万円
- 台風19号による被害を受けて増額。
- 弁護士委託料 240万円
- 学校給食センター建設の業者選定方法等に不当な行為があるとして、損害賠償を求める事件に対する弁護士費用として増額。

質疑

大沼 罹災者見舞金について、金額等の詳細を示してほしい。
福祉課長 「大河原町罹災者見舞金支給内規（左表）」で定められている。

水害	居宅の半分以上が床上浸水	2万円
その他災害	居宅が半壊以上	2万円
その他	町長が認める場合	2万円

山崎

避難所へのベットの連れ込みを断られた町民が、いたうたが。
総務課長 避難所内にベットの連れ込むことは遠慮してほしいとメール等で連絡した。今後の検討課題と認識している。

支援のために

可決

11月
会議

報告1件

議案2件



一般会計補正

- 主な補正
- 罹災者見舞金 160万円
- 災害救護資金貸付金 1900万円
- 台風19号による被害に対応するため、関連経費を増額。
(全会一致で可決)

台風19号被災者に対する条例の制定

台風19号による災害被害者に対する町税の減免に関する条例
(全会一致で可決)

台風19号による災害被害者に対する介護保険料の減免に関する条例
(全会一致で可決)

台風19号 大河原町の被害総額 8億7729万円

全員協議会



被災状況

気象状況
 ①24時間降水量 317mm
 (10月12日午前4時～13日午前4時)
 ②白石川最高水位 17・37m
 ※はん濫危険水位 17・50m

避難関係

1455名が避難
 ●大河原南小学校 371名
 ●大河原中学校 352名
 ●駅前ビル「オーガ」 303名
 ●大河原小学校 151名
 ●保健センター 106名
 ●金ヶ瀬小学校 78名
 ●金ヶ瀬公民館 68名
 ●東部屋内運動場 20名
 ●小山田生活センター 6名

被害



被災被害

①人的被害 なし
 ②家屋等の被害
 ●床下浸水 157件
 ●床上浸水 134件
 ●その他 15件
 ③公共施設等被害額 4億2485万円
内訳
 ●水路 63箇所
 ●法面水路等 44箇所
 ●稲わら堆積量 12640m³
 ●道路 25箇所
 ●舗装崩れ 17箇所
 ●ため池 1箇所
 ●揚水機 3箇所
 ●公園 3箇所 など



被災被害額

④農業被害額 6638万円
 ●農地 32箇所
 ●大豆、水稲
 ●ビニールハウス
 ⑤商工業被害額 3億8606万円
 ●商業 51社
 ●工業 20社

被災・被災証明

①申請件数 3066件
 被災証明額 3066件
 ●床下浸水 157件
 ●床上浸水 134件
 ●その他 15件
 ②発行件数 299件
 被災証明書 299件



被災者支援

内訳
 一部損壊(10%未満) 198件
 一部損壊(準半壊) 85件
 半壊 10件
 大規模半壊 4件
 全壊 2件
 被災証明書 418件
 自動車 259件
 (約280台)

被災者支援

①住宅の応急修理制度
 ●被災証明書により「大規模半壊」「半壊」または「一部損壊(準半壊)」と判定を受けた住宅で、



そのままでは住むことができない状態にあり、修理を行うことで避難所などへ避難を要しなくなる世帯。
 ②災害援護資金貸付制度 ●貸付限度額 最大350万円
 ③災害見舞金 2万円
 ④町社会福祉協議会 1万円
 ⑤日本赤十字 3000円
 ⑥被災者生活再建支援制度
 ●基礎支援金 50万～100万円
 ●加算支援金 50万～200万円

義援金

6000円～12万円
減免・免除
 ●被災の状況により町民税、固定資産税、国民税、介護保険料、介護サービス利用料などを減免・免除。

ボランティア募集・派遣

●実施団体 町社会福祉協議会
 ●派遣期間 10月15日～31日
 ●登録者 26名
 ●派遣世帯 17世帯
 ●派遣者 115名

住民訴訟

○被告人 齋 清志
 ○訴訟内容 原告は「学校給食センター」整備運営配送事業について、募集期間が10日間と短いうえに再募集が行われず、結果としてグループのみの応募となったことは意図的だと指摘、町が業者に支払った額の5%(1億4461万円)を、町が齋清志(個人)に支払いを求めよう請求している。原告は昨年6月に住民監査請求を行っている。監査委員は「町に損害を与えたとする請求人(原告)の主張には理由がない」と判断した。
 原告はこれを不服として訴えを起し、現在は仙台地裁で裁判中。

桜保育所整備計画

○スケジュール
 令和元年度 ●基本計画 (5月～7月)
 ●実施計画 (8月～令和2年3月)
 令和2年度 ●建設工事 (5月～令和3年3月)
 ●施工監理 (5月～令和3年3月)
 ●現校保育所解体設計 (5月～令和3年3月)

公共下水道事業特別会計の地方公営企業法適用

令和2年4月より、公共下水道事業を水道事業と同様に「企業会計」へ移行させるもの。
 ●新公園整備
 令和2年度 ●実施設計 (7月～令和3年3月)
 令和3年度 ●整備工事 (10月～令和4年3月)

スマホアプリで収納

令和2年4月より、スマートフォンなどのアプリで納税することが可能になる。24時間どこにいても納付できるようになり、若年層の納付機会が増えることが期待される。
○納付できるもの
 ●町民税・軽自動車税・固定資産税・都市計画税・国民健康保険税・上下水道使用料

公共下水道事業

令和2年4月より、下水道事業を取り巻く環境は、人口減少による使用料収入の減少や、下水道施設の老朽化に伴う更新投資事業費の増大等、厳しい状況となっている。

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回9人の議員が行った。

高橋 芳男 P.11

- ロタワクチン定期接種の推進
- 「あいサポート運動」の導入について
- 未婚ひとり親に特別給付

岡崎 隆 P.12

- 災害時・事前減災における町として羅針盤となる政策はあるのか

丸山 勝利 P.13

- 防犯カメラの設置について
- 水害対策について

万波 孝子 P.14

- 水害から住民の生命と暮らしを守ることに

大沼 忠弘 P.15

- 水害への備えについて
- ※ 起業・創業支援の成果を生み出すことについて

高橋 豊 P.16

- 町民から町政への意見集約について
- 空き家等対策について

須藤 慎 P.17

- 台風19号について

佐久間 克明 P.18

- 気候変動に対応した雨水排水対策を

伊勢 敏 P.19

- 放射能汚染廃棄物焼却を永久に中止せよ
- 大気に浮遊する放射能への対策について
- 体育施設管理運営委託先の職員待遇について

※は、誌面の都合により掲載できなかった質問。内容は、大河原町議会ホームページ内の「中継・録画映像」で視聴できます。
(<https://www.town.ogawara.miyagi.jp>)



実施に向け既に準備



これで安心

高橋 厚生労働省は9月、ロタウイルスの乳幼児向けワクチンについて、定期接種に加える方針を示した。ロタウイルスは、幼

い子どもを中心に冬場から春先にかけて流行し、激しい下痢や嘔吐を引き起こす。感染力が強く、脱水症状がひどければ点滴や入院が

必要。さらに合併症として、けいれんや脳症を引き起こす場合もある。

ロタウイルスワクチンの定期接種化は令和2年10月から原則無料になる予定で、同年8月以降に生まれた0歳児が対象となる。

わが町でも、定期接種を推進すべきである。

町長 昨年9月に開催された厚生科学審議会の会合で、ロタウイルスワクチンを令和2年10月1日から定期接種とすることが承認された。

本町でも令和2年10月1日からの実施に向けて準備を進める。

「あいサポート運動」導入を

高橋 兵庫県西宮市は、障がい者に対する手助けや配慮が自然にできる社会を目指し「あいサポート運動」協定締結式を行った。

「あいサポート運動」は、様々な障がい者の特性を知り、身近な手助けや心配りなどを学ぶ研修を受講すれば、誰でも「あいサポート」に認定されるもの。

現在サポーター数は全国で51万人を超えている。

わが町でも、制度の導入・検討を進めるべきである。

町長 普及活動として「あいサポート」を養成する研修が中心となるようだが、町単独での展開は難しい。県の担当部署への提案などをしてみたい。

未婚ひとり親に特別給付の周知を

高橋 今年度の臨時・特別措置として、未婚のひとり親を支える給付金として、一律1万7500円の支給が決まった。

自治体によっては締め切りが迫っているところもあり、わが町でも周知の徹底や案内告知など対応を促進していくべきである。

町長 本町の対応としては、児童扶養手当の受給者全員に周知のためのリーフレットを送付し、手当の現況届の面談の際には、子ども家庭課窓口にて制度の説明を行っている。該当する方には、その場で申請手続きをしていただいている。申請期限の令和2年2月3日まで、申請漏れがないよう周知を進める。

定期接種は



高橋 芳男

一般質問

災害時避難

住民に適切に促せ



岡崎 隆

避難の迅速化を図る

報周知に努めたが、よく聞こえなかったという意見をいただいている。

岡崎 防災マップには福祉避難所として3か所記載があるが、なぜ開設されなかったのか。

副町長 避難所の中で福祉避難所でのケアが必要な方がいれば、施設に依頼するという

契約を結んでいるため。**岡崎** 防災マップにはそのようなことは書いていない。これでは住民は避難できると思ってしまう。協定の見直しが必要ではないか。

町長 福祉避難所を機能させるために、十分な反省と検証が必要と考えている。

地球温暖化による自然災害のリスクが高まる中、台風19号によって東日本は甚大な被害を受けた。あまりにも猛烈な台風であったことから、本町も過去の経験を活かしきれなかった。

岡崎 10月12日午後7時50分、午後11

時10分の2度にわたる「大雨特別警報」発表を受けて、同日深夜から13日未明にかけて「警戒レベル4避難指示緊急」のエリアメールが配信された。東日本では、この時間帯に避難所に向かう多くの住民の命が危険にさらされた。夜間に避難行動を促すことは適切だったのか。

町長 今回の事例を踏まえ、早期の避難

難所開設と避難の周知、自動車の高所避難や自宅での垂直避難等について、対応策の充実とともに広く啓発を進める必要があると考えている。

町長 今後の大型台風の襲来が予想できる中、体制強化に向けての課題は何か。

岡崎 避難所を利用した町民は1455名。広報車を走らせて率先避難を呼びかけていたが、どれほどのアナウンス効果があったと認識しているか。

総務課長 車両4台で午後途中車を止めながら広



命を守るため、早期避難を

街角に設置を

防犯カメラ

駅東側に設置を検討



子どもたちのために通学路にも

近年の犯罪において、街角の防犯カメラが犯罪の抑止や迅速な犯人検挙につながっている。また行方不明者の捜索においても、足取りをつかむ上で貴重

なツールとなっている。本町でも防犯カメラを設置することにより、犯罪や不法投棄の抑止・検挙、また児童・生徒の安全安心の確保につながる。



丸山 勝利

丸山 防犯カメラの設置については、問題点は何か。

町長 録画映像は個人情報保護法が規定する個人情報に該当するため、周辺住民の了承に関する点や映像の管理に関して、十分な配慮が必要になる。

丸山 二歩先行く「大」河原町のため、不審者情報の多い駅東地区に防犯カメラを設置して、児童・生徒の安心安全を確保することが必要ではないか。

町長 迷惑行為の多い駅東側への防犯カメラ設置を検討している。

水害対策は万全だったのか

台風19号の影響で本町も大きな被害を受けました。被災された方には心からお見舞い申し上げます。

丸山 近年の異常気象により、以前は百年に一度と言われた災害が頻発するようになった。

本町でも被害の大小はあるが、頻繁に冠水する場所やがけ崩れが起る場所が把握できているはずである。例えば、橋本地区は何度も冠水しているが、対策はとられているか、阿武隈川や白石川の改修も必要だが、まずは町で可能な限りの手を尽くしたで、県や国へ働きかけてはどうか。

町長 これをやれば被害が無くなるという策があれば実施する

るが、現状では手だてがない。今後の検証、検討に時間をいただきたい。

丸山 災害ゴミ仮置き場に災害ゴミではないものが多く見受けられた。仮置き場の運営は適切だったか。

町民生活課長 仮置き場が、どこからでも入れるような状況はあった。不法投棄があれば、それだけ費用も時間もかかるので、対策を考えた

丸山 災害対応には自らが大切。県で実施している防災指導員養成講座に各地区から受講者を出してもらい、地区ごとに防災指導員を配置できるようにしてはどうか。

町長 今後は資格取得にも積極的に取り組みたい。

一般質問

水害対策

住民を守る具体策を

雨水排水計画を基に着手



万波 孝子

事を求める声があるが、町長、県に強度について確認したい。万波 被書に対する国、県の支援は十分と言えるか。

町長の財政負担や被災者の経費は想定外の支出。支援金や補助率の上乗せ等があるが、十分とは言えない。

町長も同行し県町村会が村井知

事に要望した項目のうち、国の支援対象外となる床上浸水1m未満の世帯への支援について、若手・福島両県は独自の支援を行うと表明しているが、知事の反応はどうだったのか。

町長 最終的には、県独自の支援は難しいという回答だった。

副町長 福祉避難所開設については、施設の方と再度調整を図りたい。

万波 雨水排水路計画を町民に示し、不安を少なくする手立てを。

万波 今回の台風では1455名が避難。障がい者、高齢者に対する配慮は、

町長 今回の被災状況を整理、浸水関連の資料等を作成し、それを現在のハザードマップと併用したい。

町長 近くの集会所等自主避難所にした。しかし、移動距離や夜間移動の危険性、施設のバリアフリー化の課題もある。

町長 今回の被災状況を整理、浸水関連の資料等を作成し、それを現在のハザードマップと併用したい。

町長 鷺沼排水区は令和4年度完成。今回の浸水区域をはじめ、これまでの浸水区域データを参考に雨水排水計画に基づき、優先する浸水地域を決定し説明会を行う。



水害対策は急務

町長 被災者から町に届いた声とは。避難所設置や避難指示、り災証

万波 被災者から町に届いた声とは。避難所設置や避難指示、り災証

町長 今回の被災状況を整理、浸水関連の資料等を作成し、それを現在のハザードマップと併用したい。

白石川左岸堆積土浚渫を

県に強く要望する



早期浚渫が必要

大沼 今回の台風で、ハザードマップに指定しない避難所が開設されたのはなぜか。

町長 オーガや保健センター、中央公

大沼 今回の台風で、ハザードマップに指定しない避難所が開設されたのはなぜか。

町長 オーガや保健センター、中央公

大沼 今回の台風で、ハザードマップに指定しない避難所が開設されたのはなぜか。

町長 オーガや保健センター、中央公

町長 今回の災害では、消防団にもボート配備の必要性を感じた。手漕ぎゴムボートを配備するよう、予算措置をしたい。

町長 今回の災害では、消防団にもボート配備の必要性を感じた。手漕ぎゴムボートを配備するよう、予算措置をしたい。

町長 今回の災害では、消防団にもボート配備の必要性を感じた。手漕ぎゴムボートを配備するよう、予算措置をしたい。

町長 今回の災害では、消防団にもボート配備の必要性を感じた。手漕ぎゴムボートを配備するよう、予算措置をしたい。



大沼 忠弘

今回の経験を生かせ

しっかりと生かす



須藤 慎

猛烈な雨が降った今回の台風19号は、各地に甚大な被害をもたらした。本町でも大きな被害があり、改めて大雨の恐ろしさを痛感さ

せられた。役場職員や消防団の方々、区長さんをはじめ関係者の方々においては、町民のために夜を徹して対応にあたっていた

からどのような補助が
須藤 激甚災害の指定を受け、国・県



白石川の危険氾濫水位等(尾形橋欄干)

たことに感謝を申し上げます。敬意を表します。今後はこれ以上の大雨が降ることを想定した様々な対策を講じていく必要がある。
須藤 本町の全体被害額と産業別被害額は、
町長 産業別被害額は、商業で37社7226万円、工業で14社3億1380万円、農業用施設で159ヶ所3億6563万円、道路用施設で65ヶ所1億2560万円、合計8億7729万円。

受けられるのか。
町長 農業用施設9ヶ所、道路施設4ヶ所が国庫補助を受ける準備を進めている。補助率は農業用施設が8割程度、道路施設が3分の2となっているが、嵩上げがある地域に該当する場合は、さらに補助率の嵩上げがある。
須藤 今後どのようなスケジュールで進められていくのか。
町長 農業用施設については、12月10日に6ヶ所、国の査定を受けた。残り3ヶ所は1月に査定を受ける予定。

を受け、工事の発注は2月以降となり、9月までの完了を目指していく。補助の対象とならない工事については、一部を除き今年度内の完了を予定している。
須藤 今回冠水した箇所での対策を行うべき。
町長 当面は柴田町と共同で鷺沼排水区の準備を進め、その後公共下水道全体計画に基づき優先する浸水対策区域を決定していく。

上下水道 鷺沼排水区の整備が令和4年までとなっており、その後、稗田前地区の調整池等の整備や東桜町の整備、上川原(南原町)地区の整備も検討している。現在、冠水を防ぐための検討も行っており、出来るだけ早く着手したい。

復旧工事については、補助の対象にならない工事も含め順次発注を行い、令和2年度の耕作に支障が出ないよう完了を予定している。道路施設4ヶ所については、1月に国の査定

町民の声

一般質問

※1 町政モニターの導入を



高橋 豊

現在は考えていない

町民からの意見や要望を町政へ反映させていくことは、住民参加型のまちづくりや住民満足度向上を図るうえで非常に大切である。パブリックコメントや「町政ご意見箱」など、町民が町政に意見や要望を言う機会はあるものの、全町民に浸透していないのではないかと。町民から町政への意見集約について、次の通り質問する。

高橋 パブリックコメントや「町政ご意見箱」の現状と課題は。
町長 パブリックコメントは介護保険事業計画など5件で実施。意見をいただいたのは3件。「町政ご意見箱」は30年度15件の意見をいただいている。幅広く意見を伺う努力をしていく。
高橋 町政への意見や要望を集める仕

組みとして「町政モニター」を募集している地域もある。本町でも取り入れるべきだと考えるがどうか。
町長 現在は「町政モニター」制度の導入は考えていない。しかし、町民の声を町政へ反映させていく取り組みは重要である。今後検討していく。

空き家等対策の現状は
高橋 現状はどうか。
町長 平成30年10月から11月に再調査し、空き家と判断されたものの177戸のうち、特定空き家と思われるものは14戸。なお、特定空き家に関しては、管理が行き届いていない現状だが、所有者と連絡はとれているので、



目立たないところにある町政ご意見箱

今後対応していく。
高橋 空き家バンク事業については、不動産関係団体や建築関係団体と協定を締結して、積極的に取り組む自治体もある。今後空き家が増えていくことが予想されるが、本町の対応は。
町長 現在は町内での家屋新築が好調であること、また、賃貸希望者に対しても需要に応えることができ

る環境にある。本町としては、そのような自治体の事例を参考に、町内の関係団体との協議を通して、本町にあつた形で事業整備を進めたい。
※1 町政モニター 町政についての意見や提言を収集し、町政の効果的な運営を図るための制度。
※2 特定空き家 そのまま放置されると周辺の景観を損ねたり、衛生上有害と思われる物件。

一般質問

雨水排水

気候変動に対応した対策を

方策を検討する



佐久間克明

留施設を設ける検討を
してはどうか。
さらに福島県内市町
では、独自に防災調整
池設置の条例を設けて
いる。土地開発に伴い、
雨水排水量が増えるの
は、企業側の責任で策
を講じる考ええだ。本
町でも検討を。

調整池の必要性は認識
しており、早急な対応
が必要と痛感している。
また、大中体育館改
築に伴う貯留施設の設
置については、財源や
工期などから難しい。
町独自の防災調整池
設置条例制定について
も、県の都市計画法に
基づく開発許可制度審
査基準と密接な関係が
あるため、動向を見な
がら対応したい。

業もっている。

佐久間 大雨時は、阿武隈川の水位上昇に併せて、白石川や荒川も水位が高くなる。本町のみが浸漬等の策を講じても根本的な解決にはならない。河川を有する市町が、国や県に陳情を行う必要があるのでは。

町長 本町だけの問題でないと痛感している。今後、関係する市町と協議する。

佐久間 本町は住宅建築が増加している。田畑が埋め立てられ、舗装で覆われる面積も増えている。これも、水害を拡大する要因の一つではないか。

県の「防災調整池設置指導要綱」を確認すると、平成8年1月に改定されて以来、更新されていない。設置場所が「平地面・丘陵部」と区分されているが、もっと県内を細分化す

べき。また「50分の1降雨強度式」「30分の1降雨強度式」も、台風が大型化している現在にそぐわない。県へ早急な見直しを要望すべき。

福島県や千葉県では、雨水貯留施設設置に取り組んでいる。調整池を設置し、流出に時間差を設けて被害を少なくしている。大中体育館建替えの際に、グラウンドの地下などに貯



公園など公共施設に防災調整池設置を(東桜公園)

近年、地球温暖化に伴う気候変動により、甚大な災害が多発している。特に降雨に関しては以前の常識が通用せず、早急な措置を講ずる必要がある。

佐久間 町内排水路の整備管理状況は。

町長 通行や雨水排水線は、計画的に更新している。また、通学路の安全確保のため、国の補助を受けて改修事

内部告発 出勤記録改ざん

事実を吟味し対応する



町のスポーツ振興、青少年の健全育成の殿堂で、職員がよもやの行動

町は、総合体育館の管理運営を委託しているNPPO法人大河原町スポーツ振興アカデミーへの委託料を平成30年度に約400万円増やしたが、若手職員の待遇改善が進まないため職員が定着しない。我が家に届いた内部告発のコピーから、2

名の管理職員がタイムカードを改ざんし賃金(委託料)町の税金をだまし取っていた疑いが判明。若手職員の待遇改善の圧迫要因である。

伊勢 収入のほとんどが町の税金であるNPPOを監査する町の責任は大きく、責任

を明確にせよ。今後、総合型地域スポーツクラブの創設や健康増進事業など企画力向上のため、教育委員会のマンパワーの増強が不可欠という状況を踏まえ、NPPOに改善を求めるところにとまらず、体育館の町直営を含め、NPPOとの関係を見直せ。

町長 タイムカード改ざんについてはこの場で確認はできず、事実を吟味したうえで判断する。

伊勢 現在、災害廃棄物焼却のため中断されている放射能汚染廃棄物焼却が、無期中止とし、汚染廃棄物農家の救済のため、農水省の全額補助を活用し廃棄物を移動、安全保管するよう仙南広域に提言せよ。

町長 焼却の安全は確保済みゆえ、焼却を中止しない。

セシウム濃度上昇
焼却は永久中止を
私の調査によると、放射能汚染農業系廃棄物の焼却開始前の3か月間のほぼ全時間が焼却炉に対し風上、焼却開始後の3か月間の約4割も時間が風下となった金ヶ瀬及び上大谷の2地点で、大気中セシウム濃度が大幅に上昇、焼却によりセシウムが拡散したことが判明。

伊勢 健康被害を未然に防止するため、肺内部のセシウム検査のためホールボディカウンター、また、丸森町で4名の子どもが罹患した甲状腺がん検査を定期的に行え。イタイイタイ病はカドミウムとの因果関係は立証されなかったが、状況証拠から公害病第1号に認定された。本件においても状況証拠は揃った。

町長 セシウムが肺がんの原因だと立証されておらず、検査は行わない。

町内 町内で肺がん増加
内部被ばく検査せよ
原発事故の3年後以降、町内や仙南地域で肺がんが急増している。最近3か月間にお会いした町民女性約800名のうち4名が肺がん罹患、1名は逝去された女性のご家族だった。

総合体育館 職員不祥事



伊勢 敏

議会 報告会

いんなごと 気になつていきます

台風関連

- ハザードマップの精度に問題があるのでは。冠水のために避難所にとり着けなかった。
- 田んぼから田んぼへ流入した土砂も何とか処理してほしい。
- 避難所は生活センターではなく、最初から公民館にしてほしい。
- 白石川の氾濫に備えて、高層建築の民間企業と協定を結び、安全な避難所を確保せよ。
- 今回の台風では避難所に人が入りきらなかった。見直しが必要では。
- 福祉避難所はあるようだが、実際に寝たきりの家族をどうすればよかったのか。
- 町でゴムボートを所有しているのか。
- 若い人は防災士の資格を取得すべき。
- 台風被害で、木が倒れて電線が垂れ下がっている道路がある。対応してほしい。

地域整備

- 白石倉庫から堤に入る道路を修理してほしい。道路修理の計画を区長に知らせてほしい。

デマンドタクシー

- デマンドタクシーを頼んでも、二本松団地には来ない。
- デマンドタクシーのほかにも、周遊型バスなどの地域公共交通システムを構築できないか。

企業誘致

- 若い人を呼び込むには、企業誘致が必要ではないか。
- 上谷地区に企業を誘致できないか。

教育

- 大河原町の教育・学力は誇りにしていい。もっとアピールするべき。
- 柴田農林高校と大河原商業高校が統合するが、その統合校で、町の諸課題解決に取り組める人材を育成できれば、理想的と考える。

子ども

- 子ども会に入る世帯が少なくなった。もっと区の行事に参加してほしい。
- 子ども会に入らない世帯数を把握したうえで、正確にサポートしてほしい。

景観条例

- 一目千本桜を次世代に残せるよう、景観条例を制定してほしい。



議員14名を3班に編成し、11月14日（木）及び11月15日（金）の両日、6会場（原前集会所、堤生活センター、西原集会所、小山田生活センター、上谷集会所、中央公民館）において、議会報告会を開催しました。

防犯

- 子どもに対して、あたたかい行政運営をお願いしたい。最近是不審者が多いので、防犯カメラを設置できないか。
- 街灯が少なく不安を感じる子どももいるので、通学路に街灯を整備してほしい。

少子高齢化・人口

- 「ガワコン」からカップルは誕生しているのか。
- 町のセールスポイントをもっと宣伝・PRして、移住定住につなげるべき。
- 大河原町への移住を検討している人に、数か月お試し生活ができる住宅を準備してみよう。
- 子どもを産んでも、不安なく育てている環境が必要。
- 町独自の「少子高齢化対策税」のようなものを設けられないか。
- 少子高齢化や移住定住を議論するのであれば、昼間人口や流動人口も考慮するべきではないか。

中心部活性化

- 魅力ある商店街づくりが必要ではないか。
- 町の中心部の活性化を図る必要がある。

放射能

- 仙南クリーンセンターでの放射能汚染廃棄物焼却によって、放射性物質が漏れている。
- 議会で環境委員会のようなものを立ち上げてはどうか。
- 子どもの甲状腺がん検査を実施するべき。

財政問題

- 中核病院は赤字と報道されることがあるが、実際の経営状況は。また、刈田病院との連携は。
- 大河原町の仙南地域広域行政事務組合、中核病院への負担割合は多くないか。

その他

- デイサービスをもっと充実させてほしい。
- 町長と議会の同日選挙の件はどうなっているか。イノシシ対策をしてほしい。
- 女性議員がもっと増えてほしい。

※意見・要望に対する回答は、後日議会ホームページに掲載します。

委員会活動

総務産業常任委員会

訪問調査

- 調査日 10月21日
- 調査先 光洋精機株式会社
- 調査事項 会社概要、事業内容について

自動車部品や医療器材を中心とした複雑な形状を含む製品の製造を得意としている。会社設立以来、金型製造、低圧鋳造とも大ききにこだわり、より大きいものを安心品質・短納期で納入できるよう技術研鑽に励んでいる。現在では、半導体装置の部品や景観製品を製造する等、新分野でのアルミ鋳物の需要にも



●ものづくり補助金を利用して、産業用ロボットを導入。設備の効率化を図っている。

●海外研修生を積極的に受け入れている。現在はインドネシアから13名を受け入れており、敷地内の寮に入居して研修制度による外国人研修制度には20年前から取り組んでおり、「国際人材育成機構」を窓口を受け入れている。

文教厚生常任委員会

行政視察研修

○調査日

11月11日・13日

○視察先

- ①岡山県和気町
- ②岡山県備前市
- ③兵庫県相生市

○調査結果

①岡山県和気町

「英語特区の導入について」

●教育を地方創生の柱とし、子育て世代の移住促進を図るために「英語特区」を導入。

●具体的には、A・L・T（外国語指導助手）を町内3小学校、2中学校、幼児施設、町開催の英会話教室（3歳児・小学校4年生、社会人が対象）にそれぞれ派遣。

●国際的な視点をもって、誇れる故郷を色々な形で発信し、世界中の人々と應ずることな

●授業の中でICTを活用している教員の割合は、75%から95%へ飛躍的に増加した。

●ICT活用に関する教員間の温度差。

●アプリケーションの購入に時間と責任がかり過ぎる。

●ネットワークが全教室に入っていない。

●意見を交換しながら、和気町を発展させていけるような人材を育成する。

②岡山県備前市

「教育現場におけるICTの活用について」

●重点校という外部強制力による、授業を変えるきっかけになる。

●学習に関する興味・関心が喚起された。

●説明が苦手な子どもたちに対する、発表の支援となった。

●授業の中でICTを活用している教員の割合は、75%から95%へ飛躍的に増加した。

●ICT活用に関する教員間の温度差。

●アプリケーションの購入に時間と責任がかり過ぎる。

●ネットワークが全教室に入っていない。

●教職員数の多い学校では、全体の意思統一に苦慮する。

③兵庫県相生市

「子育て支援事業について」

●消滅可能性都市となったことを解決するための「選択と集中」により、自主的で自立的な地域経営を目指すことに、この姿勢を示すために「子育て応援都市宣言」を行い、子育て世代を中心に定住促進を図った。さらに「口の鍵」を柱に、定住促進関連事業を展開。

①新婚世帯家賃補助金交付事業

②住宅取得奨励金

③妊婦健康診査補助

④出産祝い金支給

⑤子ども医療費助成

⑥子育て応援券交付

⑦3歳児保育事業

⑧市立保育園預かり保育事業



議会広報常任委員会

広報研究会

○日時 11月20日

○会場 宮城県自治会館

○講師 議会広報サポーター 芳野 政明氏

●議会広報の基本と編集ポイントについて講演を聞いた後に、県内自治体の広報を事例にクリニックを受ける。

●意見交換の場として、議員と市民の距離を縮め、議会活動の透明性を高める。また、議員の広報活動の重要性を再認識する。

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

納税をスマホ決済で



提言

県内自治体でもスマホアプリ決済による納税が始まっている、早急に導入すべき。

議員の提言
(一般質問)
平成31年3月

令和2年
4月より

追跡結果

新年度よりスマホ決済による納税が可能となる。時代に合わせた納税方法を選べることで納税者の利便性が高まり、納税率向上が期待できる。

防犯カメラ設置拡大を



提言

犯罪の抑止や事件、事故の解決に必要な防犯カメラを増やして安心・安全を拡充すべき。

議員の提言
(一般質問)
平成31年3月
令和元年
6月・9月・12月

令和2年
現在

追跡結果

迷惑行為の多い駅東側に、警察及び行政区長とともに設置場所の選定を行い、見積り徴収を行っている。しかし、個人情報保護の観点から設置には十分な配慮が必要であり、自動販売機や街路灯への設置には至っていない。

頑張っている
子どもたち

祝 全国大会出場へ

前元 柁人さん
【大河原中学校2年】

宮城県中学校総合体育大会
スキー競技大回転
第5位

2月5日から野沢温泉スキー場（長野県）で
開催される第57回全国中学校スキー大会へ
出場することが決まりました。



金ヶ瀬ニュースターズ
【女子ミニバスケットボール】

第42回 宮城県民体育大会バスケットボール・ジュニアの部
兼 第51回 全国ミニバスケットボール大会宮城県予選
優勝

12月26日～28日に行われた大会において
念願の初優勝を果たしました。

3月28日から国立代々木競技場第一体育館
（東京）で開催される第51回全国ミニバスケ
ットボール大会へ出場することが決まりました。



3月議会のお知らせ
議事を傍聴しませんか

招集日 3月4日(水)
再開日 3月10日(火)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800

令和元年12月6日
「おおがわら桜イルミ
ネーション」の点灯式
が開催されました。町
内の中学生による「ま
ちづくり夢・未来会議」
からの提案で、平成29
年にスタートしました。
今回は電球の数も4
万球から6万球にパワ
ーアップし、町内外か
ら多くの方にお越し
いただきました。「冬の
桜」のようすは、テレ
ビやSNSでも多数配
信されました。



子どもたちは、
水温5度の冷たい
白石川に入り、「突
き」や「受け」など、
元気いっぱい、気
合の入った稽古に
励んでいます。
(須藤 慎)



今回の表紙は

編集発行責任者 伊勢 敏
議長 佐藤 貴久
議会広報常任委員 佐久間 克明
委員長 須藤 慎
副委員長 万波 孝子
委員 大沼 忠弘
伊勢 敏
高橋 豊

一月下旬にようや
く、県南の一部のスキ
ー場で滑降できる降雪
がありました。今冬は
ことのほか温暖、夏の
渇水が懸念されます。
雪不足も昨秋の台風19
号による広域型洪水も
地球温暖化の影響です。
温暖化が新たな段階に
突入したと思われま
す。
恒例の小学生の議会
傍聴があり、町の将来
について関心を持った
感想文が寄せられ、う
れしく思いました。
若い世代には、長期
気候変動を見通し、何
をなすべきか、という
発想を持ってほしいと
期待します。
(伊勢 敏)

編集後記